

## 丘のみちしるべを活用した地域学習推進事業

### 取組に至る背景・事業の目的

飯田市竜丘地区の歴史や遺産、自然などをまとめたふるさと教材「丘のみちしるべ」が発行されてから 10 年以上が経過した。時代の変化により、地域をめぐる状況が大きく変わってきたため、この間に起きた地域の変化等を教材の中に取り入れ、新たな「丘のみちしるべ」を作成する。

この編集作業にあたっては、小学校でも活用する教材であることから、学校の先生にも編集に加わってもらい、子ども達にもわかりやすいものを作成するとともに、今後、地域の中心を担う若い方も編集に加わり、地域のことを学ぶ機会としていく。

### 事業内容

#### ○編集作業

地域住民と竜丘小学校・緑ヶ丘中学校の先生、計 35 名で編集委員会を組織し、地域と学校が連携してふるさと教材を作成する体制を整えた。編集委員会による編集作業や会議は 70 回を超え、よりわかりやすく、親しみやすい教材を目指した。

#### ○学習会等の開催

編集委員や地域住民を対象とした学習会や事業等を合計 6 回開催し、地域について学ぶ機会をつくとともに、編集作業にあたっての参考とした。

#### ○「新・丘のみちしるべ」発行

完成した教材は、小中学生、地域住民用等で合計 3,500 冊発行した。



【現地調査で小学校の先生が解説】

### 事業効果

地域住民代表の編集委員は主に 40～60 代の若い世代であり、こういった委員が自ら地域について学習し、執筆することで、新たな世代に地域学習等の講師となり得る人材が育成された。

学校の先生も委員に入っており、学校での地域学習の具体例や遠足のコースの参考資料としても活用してもらうことで、子ども達への地域学習が一層発展していく。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

編集委員会の中で、今後の活用方法についても検討を重ねてきた。従来の小学校での活用に加え、編集委員による出前授業や公民館事業での説明等、編集委員が活躍できる場を作っていきたい。また、利用方法や利用頻度等を確認し、今回の改訂の評価を行うことで、地域全体で活用されるようにしていきたい。

#### 【選定のポイント】

地域住民と学校関係者等が編集委員となり、改訂作業や学習会等を協働で実施し、地域全体で子ども達を育てていく取組を行った。完成した読本は、子どもにもわかりやすく、親しみやすい内容となっており、今後の活用も大いに期待できる。

団体名 新・丘のみちしるべ編集委員会（飯田市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 0265-26-9303	事業費	1,949,638円
（事務局 飯田市竜丘公民館）	支援金額	1,360,000円
ホームページ <a href="http://tatsuoka.nagano.jp/">http://tatsuoka.nagano.jp/</a>		
メールアドレス <a href="mailto:iccc13@city.iida.nagano.jp">iccc13@city.iida.nagano.jp</a>		